

第4回定例会

11月29日～12月7日

# みなと区議会だより

Ⓢ No.172 2008年(平成20年)1月1日

港区議会 / 〒105-8511(専用郵便番号)港区芝公園1-5-25 電話(3578)2111(代) <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

## あけましておめでとうございます



港区議会議長

井筒 宣弘

あけましておめでとうございます。区民の皆様には、健やかな新年をお迎えになられたことと、心からお慶び申し上げます。

港区議会を代表して、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年を振り返りますと、4月の区議会議員選挙で、区民の皆様からの負託を受けた34人の議員で構成する第16期港区議会が誕生しました。

7月には、新潟県中越沖地震が発生し、多くの家屋倒壊と尊い命が犠牲となりました。

区議会では、直ちに、新潟県に見舞金をお届けし、被災地が落ち着いた頃、被災地の状況や復興の活動を視察してまいりました。大地震の爪跡を見るにつけ、改めて自然災害の恐ろしさを知るとともに、わが港区においても、建築物等の耐震化を一層進めて行かなければならないと改めて痛感いたしました。

CO2の削減と環境学習推進のために、あきる野市の未整備な森林を借り受け、「みなと区民の森」として整備する事業が着手されました。この事業は、全国的にも大変話題を呼びました。私たちもこの森に行ってきましたが、誰でも参加・体験できる森として甦ることを期待しています。

昨年末には区役所ロビーで、初めて「区議会文化展」を開催しました。多くの区民の皆様にご鑑賞していただき、議員一同心からお礼申し上げます。

本年は、隣国で「北京オリンピック」が開催されます。日本人選手たちの大いなる活躍が、明るい話題や醍醐味をたくさん提供してくれるものと期待しています。

さて、昨今の地方分権時代の流れから、地方議会の役割が大きく変わろうとしています。

港区議会としましては、議会としての役割を十分発揮するとともに、議会活動の透明化を更に推進してまいります。

結びに、港区の一層の発展と区民の皆様のご多幸を心から祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

### 目次

- 新年あいさつ ..... 1
- 各会派の抱負 ..... 2
- 代表・一般質問 ..... 4
- 請願・意見書 ..... 7
- 審議結果 ..... 8
- お知らせ ..... 8

- |        |     |        |     |
|--------|-----|--------|-----|
| 井筒 宣弘  | 議長  | 井筒 宣弘  | 議長  |
| 副議長    | 副議長 | 副議長    | 副議長 |
| 風見 利男  | 副議長 | 風見 利男  | 副議長 |
| 大滝 実   | 副議長 | 大滝 実   | 副議長 |
| 小斉 太郎  | 副議長 | 小斉 太郎  | 副議長 |
| 杉浦のりお  | 副議長 | 杉浦のりお  | 副議長 |
| 山本閉留巳  | 副議長 | 山本閉留巳  | 副議長 |
| 近藤まさ子  | 副議長 | 近藤まさ子  | 副議長 |
| ゆうきくみこ | 副議長 | ゆうきくみこ | 副議長 |
| 二島 豊司  | 副議長 | 二島 豊司  | 副議長 |
| 赤坂だいすけ | 副議長 | 赤坂だいすけ | 副議長 |
| 池田こうじ  | 副議長 | 池田こうじ  | 副議長 |
| いのくま正一 | 副議長 | いのくま正一 | 副議長 |
| なかまえ由紀 | 副議長 | なかまえ由紀 | 副議長 |
| 七戸 淳   | 副議長 | 七戸 淳   | 副議長 |
| 阿部 浩子  | 副議長 | 阿部 浩子  | 副議長 |
| 杉本とよひろ | 副議長 | 杉本とよひろ | 副議長 |
| 清原 和幸  | 副議長 | 清原 和幸  | 副議長 |
| うかい雅彦  | 副議長 | うかい雅彦  | 副議長 |
| 森野弘司郎  | 副議長 | 森野弘司郎  | 副議長 |
| 水野むねひろ | 副議長 | 水野むねひろ | 副議長 |
| 熊田ちづ子  | 副議長 | 熊田ちづ子  | 副議長 |
| 星野 喬   | 副議長 | 星野 喬   | 副議長 |
| 樋渡紀和子  | 副議長 | 樋渡紀和子  | 副議長 |
| 古川 伸一  | 副議長 | 古川 伸一  | 副議長 |
| 達下マサ子  | 副議長 | 達下マサ子  | 副議長 |
| 菅野 弘一  | 副議長 | 菅野 弘一  | 副議長 |
| 杉原としお  | 副議長 | 杉原としお  | 副議長 |
| 鈴木 洋一  | 副議長 | 鈴木 洋一  | 副議長 |
| 沖島えみ子  | 副議長 | 沖島えみ子  | 副議長 |
| 渡辺 尊太郎 | 副議長 | 渡辺 尊太郎 | 副議長 |
| 林田 和雄  | 副議長 | 林田 和雄  | 副議長 |
| 藤本 潔   | 副議長 | 藤本 潔   | 副議長 |
| 鈴木たけし  | 副議長 | 鈴木たけし  | 副議長 |
| 島田 幸雄  | 副議長 | 島田 幸雄  | 副議長 |

◎この「区議会だより」は、新聞(朝日・読売・毎日・日本経済・産経・東京)折こみです。左記新聞を購読していない人のために、区の主な施設の窓口にもおいてあります。また、戸別配布も行っていますので、ご希望の方はご連絡下さい。【連絡先】区議会事務局調査係 3578-2920

# 迎えて



## 各会派の抱負

### 自民党議員団



池田 こうじ 赤坂 だいすけ 二島 豊司 ゆうき くみこ



水野 むねひろ 森野 弘司郎 うかい 雅彦 清原 和幸



鈴木 洋一 杉原 としお 菅野 弘一



島田 幸雄 鈴木 たけし 井筒 宣弘

明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。さて昨年の日本経済はそれまで続いた穏やかな景気回復から、米国のサブプライムローン問題による日本企業への影響や米経済の減速懸念の高まり、そして国民の生活を直撃する原油価格の高騰など、再びマイナス要因を抱えることになり、本年も引き続き景気拡大策の継続が必要となつていきます。一方、港区は、人口の回復や財政改革の取り組み等により、昨年初めて区の予算総額が千五百億円を超え、名実共に23区トップとも云える財政基盤を持つまでになりました。そして他区に先駆けて実施した特定不妊治療費助成や高齢者インフルエンザ予防接種費助成などの他、都心区が行った環境対策の画期的な試みとして、あきる野市の20ヘクタールの森林を借り受け、「みなと区民の森」として区民、事業者と協働して整備し、二酸化炭素削減と環境学習推進を行うという事業にも着手しました。また、その他にも最優先課題としての全庁を挙げての区民の安全・安心確保への取り組みや、身近な区役所実現のための総合支所制度の充実、区民の文化・スポーツ活動支援環境の整備、保育園待機児童解消特別事業、高齢者の負担軽減策など、多くの独自事業を行っています。しかしながらこの港区においても、今後、新たな住民の増加による区民税の伸びが見込まれる一方で、東京富裕論(東京バッシン

グ)などに見られる税源移譲等の圧力の影響など、将来に対する財政の見通しが不透明な状況になりつつあります。区には、引き続き行財政改革の取り組みを緩めることなく推進し、磐石な財政基盤を確立するとともに、これからもなお継続して質の高い区民サービスをを行い、地域の特性を活かした先駆的な施策や都区特有の課題に応じた独自施策を積極的に推進していくことが求められています。そこで自民党議員団は、新年度に向け港区が直面する当面の諸課題に対応するため、区民の安全・安心施策としてのマンションを含む区内建物の耐震診断・補強工事の支援拡大と充実、高層マンションにおける防災対策の推進、各地区総合支所を含めた災害時初動体制の確立、区内中小企業支援施策として、中小企業の経営継続・事業再建等支援のための専門的助言体制の確立、子ども人口の増加に対応した緊急保育施設等の整備確保や子育て環境・教育環境の整備充実、そして港区で安心して子どもを産めるように区内医療機関をはじめ国・都とも連携した周産期医療の確保、団塊の世代を活用した地域活性化の幅広い分野での推進、田町駅東口北地区街づくりビジョンの速やかな実現などを、活動の新たな重点項目に加え積極的に取り組むとともに、昨年12月には、武井区長に対し、それらを盛り込んだ平成20年度の予算要望を行いました。最後に、自民党議員団は昨年4月に行われた港区議会議員選挙において、若い6名の新人を含む14名による会派を結成することができました。地方分権により区議会の役割もますます高まっていく中で、引き続き武井区長を支持する与党最大会派として、本年も、区民生活向上のためその責務をしっかりと果たすと共に、議会改革等にも、新たな若い議員たちが持つ情熱と感覚を存分に活かし積極的に取り組んでまいります。本年も宜しくお願い申し上げます。

### 公明党議員団

私たちが港区議会公明党は、今後とも生活者の感覚を大切に、少子高齢社会の現状を踏まえ福祉、環境、中小企業、教育施策等の充実に全力を注いでまいると共に、ネットワーク政党公明党の真骨頂を発揮して「公明党は素早い」現場の声がすぐ行政に届く」という目に見える行動を展開してまいります。この一年、区民の皆様にとって、ご多幸、ご繁栄の年となりますよう、心より祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

明けましておめでとうございます。常日頃から、港区議会公明党に温かいご支援を賜り、衷心より御礼申し上げます。昨年4月に行われました港区議会議員選挙、7月に行われました参議院議員選挙に多くの方のご支援を頂きました。私達6名の議員は、皆様から頂いたご支援に対し使命と責任を果たすべく、新たな自覚で「生活者の目線」に立った政策の実現、改革の推進に取り組んでまいります。昨年公明党は、日本が直面している、地域活性化、雇性格差是正、救急医療、中小企業活性化に取り組むために四つの対策本部を立ち上げ、皆様に安心して頂ける社会を実現する為に、党を挙げて行動を開始しました。一方、昨年は港区が誕生して60周年の佳節を迎え、祝賀行事が行われました。さらに支所機能の拡大充実を基本に区民により身近な区役所づくりを目指した総合支所制度がスタートして一年が経過し、区民の皆様におかれましても、役所がより一層身近に感じられるようになったのではないのでしょうか。



古川 伸一 杉本 とよひろ 近藤 まさ子



藤本 潔 林田 和雄 達下 マサ子



各会派の抱負

# 新春を

## フォーラム民主



七戸 淳



山本 閉留巳



杉浦 のりお



渡辺 専太郎



樋渡 紀和子



阿部 浩子

新年あけましておめでとうございます。皆様には常日頃より、私共みなとフォーラム・民主に温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。昨年、四月の港区議会議員選挙、七月の参議院議員選挙と続きましたが、四月の選挙で当会派所属の新人議員二人が当選致しました。

また異常気象ともいべき夏の異常な暑さ、能登半島沖地震や新潟県中越沖地震の続発、さらには親族間の殺人事件、食品の偽装、政治と金をめぐる事件、消えた年金問題など、環境や安全そして人々の生き方についても考えさせられる一年でもありました。

港区では、ここ数年街並みの変化と人口の増加が見られますが、昨年行政主導から住民主導による新たな街づくりの方針を定めた「港区まちづくり条例」が制定され、さらに今年は景観条例が審議されようとしております。

私達フォーラム民主は、責任ある与党会派の一員として、人々が安全で安心できる、そして品格の有る港区をめざし、政策の是非を問い、時には区政に苦言も呈します。また現地現場主義により、住民の皆さんや現場で汗を流す皆さんの声を大切にして、行動力と透明性の有る区政を一層進めて参ります。

本年も、子育て支援、教育環境の整備、起業促進と産業育成、後期高齢者医療制度の点検と改善策、区有地の再活用、高齢者や障がい者の福祉、町会・自治会改革、環境美化と生活安全、区政IT化などの諸課題に取り組みます。皆様のご健勝をお祈り申し上げ、一層のご支援とご協力を賜りますよう、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 共産党議員団

明けましておめでとうございます。憲法九条改悪、国民への負担増と増税押しつけ、「構造改革」による貧困と格差が広がるなか、昨年の参院選では、この「自・公政治ノー」のしっかりした審判が下されました。まさに国民が政治を動かした出来事でした。日本共産党は国民のみなさんが願う新しい政治の実現へ全力を上げてまいります。

これまで日本共産党港区議員団は、予算修正を含め、議員提案権を積極的に行うなど、区民要求実現に力を尽くしてきました。このことが、中学三年生までのこども医療費無料化、出産費用助成、町会・商店街への街路灯補助増額、特養ホーム建設推進、固定資産税軽減、災害時などの家具転倒防止取り付け支援、介護保険料の軽減等々、区の施策に結びつき、区政を動かしてきました。昨年も住民税が非課税から課税された方の税額を軽減する「痛みやわらげ手当条例」「精神障害者への福祉手当支給条例」「区民税の減免拡大条例」「学校入学準備金支給条例」をはじめ様々な提案を行い、実現に全力を上げました。また、区民のみなさんよびかけ、まちづくり懇談会を開催し、区民本位のまちづくりへの声を上げてきました。

港区の財政力は全国トップクラスです。自民・公明の国民いじめの政治が続いているなかで、超高層ビルはもういない「区民負担の軽減を」「豊かな財政を区民のために」が多数の区民の声です。区民生活を守るべき港区の役割を区民は強く求めています。

しかし、オール与党に支えられた港区は、大企業の大開発を推進する一方、負担軽減の区民要望に背を向ける区民不在の政治を進めています。皆さんと力を合わせ、住民本位の区政めざして頑張る決意です。今年も宜しくお祈り致します。



熊田 ちづ子



いのくま 正一



大滝 実



沖島 えみ子



風見 利男



星野 喬

## みらい



小斉 太郎



なかまえ 由紀

「謹んで新年のお慶びを申し上げます。先の区議選で再選した無所属議員二名で、新会派「みらい」を結成しました。「みらい」という会派名には「未来を担う次世代への責任をしっかりと果たす」という思いを込めています。「今さえよければいい」「今お金がたくさんあるから使えばいい」という空気を厳しく監視し、今を生きる私たちが未来に何を残せるのかしっかりと議論する土壌を創るべく取り組んでいます。

この間、あらゆる機会を捉えて「豊かな財政における行政改革の必要性」や「高層型開発に対する一定の制限付与」等を主張・提案しています。また「休日や夜間の開庁」「民間活用型の駐輪対策」等、生活に密着した課題解決も訴えています。本年も、本質的議論と区民の視点からの提案を続けて参る決意です。皆様のご指導・ご支援をお願い申し上げます。

### 第4回定例会 会議日程

- 11月29日 運営委員会・本会議 会期決定 諸報告
- 30日 一般質問4名
- 30日 運営委員会 本会議 一般質問6名 議案等付託
- 12月3日 4常任委員会
- 4日 議案等の審査 総務・保健福祉・建設常任委員会
- 5日 議案等の審査 建設・区民文教常任委員会
- 5日 議案等の審査 4常任・4特別委員会
- 7日 委員長報告・中間報告 運営委員会・本会議 議案等の議決

### 各会派の連絡先

自民党議員団 (3578) 2927	共産党議員団 (3578) 2945
公明党議員団 (3578) 2935	みらい (3578) 2933
フォーラム民主 (3578) 2938	不在の場合は区議会事務局 (3578) 2911へ

# 代表・一般質問

(要旨)

11月

29・30日

## 都区のあり方に関する 検討体制について

### 自民党議員団

質問 都区の事務配分のあり方について、港区独自の視点から検討する体制を整え、区長会等における区民の意向を踏まえた港区としての主張を備えていくべきと考えるが。

答弁 港区自治制度改革検討委員会を庁内に設置した。この検討組織において区民及び区議会の意向を踏まえた議論を行い、港区としての主張をしていく。

### 総合支所の防災訓練について

質問 身近な総合支所で実践的な訓練を積み重ねていくことで、区民自身が災害から身を守る力と自信をつけることが大切と考えるが。

答弁 各地区総合支所で地域性を踏まえ、災害時要援護者を対象とした安否確認訓練の充実や避難所運営型訓練を主眼とした実践的な防災訓練を行っていく。

### 高齢者支援事業の区民への周知について

質問 地域包括支援センターは、高齢者の総合相談窓口として高齢者の安否確認など様々な活躍をしている。こうした高齢者を支援する仕組みや事業をどのように区民に周知していくのか。

答弁 地域包括支援センターや高齢者地域支援連絡協議会の活動について、町会・自治会連絡会や

## 田町駅東口北地区公共福祉施設の整備について

質問 ①地元町会を中心として公益施設や公園の配置について様々な意見が出されているが、どのように対応するのか。②整備案はいつ頃までを目処に進める予定か。

答弁 ①地元の町会等の代表者等による意見聴取の場を設け、地域にふさわしい施設整備計画づくりに取り組む。②平成24年度中の開設を目指す。区民や利用者の参画を得て19年度から20年度にかけて公共施設の基本構想及び基本計画を策定する。

### 教育環境の充実について

質問 ①新しい教育センターの建設予定地の跡地小学校跡地に気象庁が移転すると発表されている。教育委員会ではどのように考えているのか。②特別な配慮が必要な子どもたちの教育について区は特別支援教育推進委員会を設置して検討を重ねているが、これからの特別支援教育はどのようなべきか。③いくつかの区で区費採用の自前の教育職員を配置または検討している。港区としても検討すべき。

答弁 ①教育委員会と国との間で協議を始めた。天文・気象などを学べる科学教育センターとしての機能も考えられ、教育センターとの連携を前提に調整していく。②「特別支援教育推進計画」を今年度末に策定する予定。障害のある子どもと保護者を支援するため教育の質的向上と相談

体制の整備・充実を図る。③区が独自に育成した優れた人材を採用するため区費教育職員の採用に向けた準備を進めたい。

### 職員の海外派遣研修の実施を

質問 海外における地震や津波、橋梁崩落事故のほか、環境問題や福祉行政を区職員が直接見て学び、その成果を区民に還元していくべき。

答弁 職員の海外派遣研修の再開については区民の理解を得て行う必要がある。研修内容を区の施策につなげる仕組みなどを十分に研究し判断する。

### 学校教育について

質問 ①現在行われている音楽交歓会とは趣を違えた区内全小学校全クラス対抗による港区小中学校合唱コンクールの実施を提案したい。各校生徒による音楽を通じた触れ合いは、生徒の愛校心を育み、連帯感を養う有意義なものと思うが。②運動会においても例えば三年に一度、港区小中学校オリピック「港区中学校オリピック」のような、現在行われている連合体育大会とは趣を違えた全生徒参加型学校対抗運動会を開催したい。学校の交流と自校への愛校心の育みのためにも、最初は近隣校対抗運動会でも開催すれば保護者のみならず近隣住民の盛り上がりも期待できる。③新しい生命の誕生そして育みは何よりも尊いのだという共通認識を持つことが大事である。核家族化、少子化が進んで、幼児に触れる機会もない若者に小さな子ども、育児中の親などと触れ合い、結婚や育児を身近に考える機会を持たせることも役に立つ。幼稚園や保育園、子育て支援センターの協力を得て、小中学生が授業の一環として訪問する、家庭科

の時間などに子育て中の家庭に協力を頂いて直に幼児と触れ合ってみる等、母性や幼子を慈しむ心を育む特別授業は如何か。

答弁 ①各小中学校では、校内で音楽会や合唱コンクールを実施し、豊かな情操や連帯感を育んでいる。中学校の音楽交歓会では、それぞれの音楽を聴き合うことで自校を誇りに思うとともに他校のよさも感じ取っている。小中学校合唱コンクールについては、今後の検討課題。②小中学校別に連合の体育大会を実施しており、80年をこえる歴史を重ねている。子どもたちの体力向上に努めるとともに、協調性や連帯感を育むことができるよう連合体育大会を充実していく。

③小さくもいとらしい生命への感動を子どもたちに伝えていくことは、教育の基本。小中学校と幼稚園、保育園との交流は、幼児への接し方や思いやり、生命を尊重する心を育むための大切な機会。今後とも、幼稚園や保育園との日常的な交流や連携を教育課程に位置づけ、望ましい家庭を築く素地を養っていく。

### スポーツ行政について

質問 ①悪しき平等主義をスポーツの世界に持ち込んではいけません。初心者教室ばかりでなく、港区ならではの恵まれた環境をいかして定期的に元プロ等を招いた子ども教室の充実、上級者教室などを試みては。地域に潜在するスポーツエリート登用、その経験・発想を活かすことについて検討を。②区立公園のみでなく、都立公園においても子どもたちがボール遊びが出来るよう、防球ネットなどの設置も併せて東京都に再度要望されたい。

答弁 ①子どもたちがトップアスリートの指導を受けたり、その練習を見ることは意義のあること。スポーツ運営協議会などの意見を聴き、スポーツ教室のあり方についても検討していく。②都立公園でのボール遊びは、球技広場以外、禁止されているが、キャッチボールやミニサッカーなどを通して友達同士が汗を流すことは青少年の健全な育成に有意義。東京都に再度、ボール遊びの出来る広場の確保を要望していく。

### 学校跡地利用について

質問 旧赤坂小学校跡地について、将来的に常設展のような、赤坂の歴史を体感できる空間は新たなコミュニティ形成にも寄与すると考えるが。

答弁 旧赤坂小学校跡地については、「港区土地活用方針」の方向性を基本に、跡地周辺にかかわる歴史や地域に受け継がれた文化に配慮し、活用策を検討。

### 地方分権改革の推進について

質問 ①地方分権の推進がどのような点において区民生活の向上に資するものとなるのか、区長の描く将来像は。②地方自治体のトップランナーとなるよう先進的な政策を他の自治体に先がけて大胆に実施し、広く情報発信するような取り組みについて、区長の見解を。

答弁 ①地方分権改革を積極的にとらえ、身近な場所で様々な行政サービスを受けることができ、区民と行政が協働して地域の課題を迅速に解決できる区役所・支所改革に向け取り組んでいく。②これまでも先進的施策を展開しており、新たな基本計画にも積極的に事業を計上する。また、全国自治体をリードする気概に溢れた職員の育成に努める。

### ノーマライゼーションと心のバリアフリーを推進する取り組みを

質問 障害者の自立を目指す方向性に対し、受け皿である社会がノーマライゼーションの理念に

対し無理解。障害者支援制度の更なる改善と同時に、ノーマライゼーションへの理解を広げるために、学校教育の場に日常的に障害者と交流できる場を設けては。

答弁 基本計画や地域保健福祉計画において、心のバリアフリーの推進を掲げ、地域交流の場や学校教育を活用して相互理解の促進に取り組んでいる。今後とも心のバリアフリーの推進のために共に学び共に育つ交流教育の充実を努める。



▲工場への支援策を

### 産業支援について

質問 ①厳しい環境にありながらも、港区でものづくりに情熱を傾ける区内製造業者に対し受注力強化のため、産業クラスター形成支援を更に強化することや後継者育成支援などのサポート体制を一層充実させる検討を。②創業に対する支援が充実していることと比べて、事業を継続することへの支援が手薄。地価の高い港区では、円滑に事業承継が図られるための支援策の必要性が高いと考えるが。

答弁 ①産業ネットワークの強化を図るため、共同受注を目的とした中小零細企業のグループの形成や、セミナーの開催による



代表・一般質問

員採用制度の活用も含め人材育成と人事制度の両面から検討。

放置自転車等の対策について

質問 放置自転車の18年度警告数は17年度に比べて大幅に増加、各地区の取り組みが強化された結果だが、撤去数はほとんど変化がない。

①これまでの対策だけでなく、鉄道事業者への要請や銀行やコンビニなどの協力を得て敷地内での駐輪場の確保など、様々な角度から計画を策定し、総合的に取り組むべきではないか。②渋谷区は、ラック式やチェーン式の自転車置場を整備し、自転車は最初の2時間は無料で12時間100円など、民間事業者2社と協定を結んで運営している。港区もこの方式を取り入れたらどうか。

答弁 ①区は、浜松町駅北口自転車等駐車場の開設など行い、今後とも、鉄道事業者への一層の協力要請を行うとともに、総合計画に基づく計画的かつ総合的な放置自転車対策に取り組む。

②区独自の「民間事業者による歩道上の自転車駐輪場設置に関する基本方針」を策定、その基本方針に基づき、地域の状況を踏まえた民間活用による自転車駐輪場の設置に取り組む。

放課後児童育成事業について

質問 放課後児童育成事業について本年10月末現在実施校は10校、今後更に拡大するとしているが

①放課GOーの中ではどのような遊びや活動をしているのか。②一港区子ども健全育成調整会議では、放課後児童育成事業の開設が施設上困難な学校を2校あげているが、スペースがないとして放課GOーを実施しない学校について、今後どのような

に展開していく予定なのか。答弁 ①放課GOーは学習やスポーツ、自然体験などを通じて、児童の自主性、創造性を培うことを目的とし、児童が主体的に過ごすほか、地域の方を講師とした昔遊び体験、地元企業との協働で環境をテーマにしたプログラムも実施している。

町会・自治会の改革について

質問 現在の町会や自治会の組織は脆弱で、このままではとても

区行政の一部を遂行する力も、責任能力も持ち合わせていない。町会・自治会改革は様々な課題があつて困難が多いことは承知しているが、区として区役所・支所改革の延長線上に町会・自治会改革を位置づけ、改革の考え方を示す必要があると思う。答弁 都心における地域自治を実現するため、区民によって自主的に組織され、運営される地縁団体であるという町会・自治会の基本的な性格を損なわないよう配慮しながら協働を進める。

税制改悪と社会保障の切り捨てによる区民負担増の軽減を

共産党議員団

質問 税制改悪・住民税のフラット化・社会保障の切り捨てによる負担増に苦しむ区民を支援することは緊急の課題。

①住民税、国保税、介護保険料の激変緩和措置の継続を。②区民の暮らしを支援する立場で区独自の対策の検討を。答弁 ①それぞれの措置の根拠となる法令や、国民健康保険の23区統一の運営の枠組みを遵守する中で適切に判断する。②既に独自に実施している激変緩和策を平成20年度まで継続予定。

介護保険料・利用料の軽減を

質問 ①介護保険料の激変緩和措置を継続すべき。②保険料軽減のため、一般財源を投入すること。③家事援助サービスなど、区として独自支援を行うべき。④非課税世帯が対象のホームヘルプサービスや訪問看護の3%負担を他のサービスにも拡大すること。



▲くらし・平和で共産党がシンポジウム開催

き。②一般財源を投入し、保険料を引き下げる。③港区独自の減免制度を創設すること。④保険証の取り上げ「資格証明書」は発行しないこと。⑤健診費用は無料とすること。⑥葬祭事業を港区独自で行うこと。

後期高齢者医療制度の中止・見直しを

質問 来年4月からの後期高齢者医療制度は、様々な問題点が指摘されている。①国や都に対し財政負担を増やすよう求めるべき。

②適切に対応する。③現在このところ考えていない。④広域連合と連携して慎重な運用に努める。⑤希望者が受診出来るよう配慮する。⑥実施する方向で検討。

①応益負担の廃止等の抜本的な見直しを国に要求を。②すべてのサービスの利用者負担を、所得制限なしで3%に軽減を。③適切に対応する。④現在このところ考えていない。

①広尾病院を引き続き、都の直営病院として運営するよう東京都に強く申し入れるべき。

全国いっせい学力テストの中止を

質問 競争をあまり、序列化につながる全国一斉学力テストの中止を国に求めること。実施されても港区は不参加を。答弁 今後の指導に役立ち、国に中止を求める考えはない。全国学力調査を有効に活用する。

民間賃貸住宅家賃助成制度の復活等について

質問 ①家賃助成の復活を。②民間向け住宅家賃の引き下げを。③シティハイツ神明は区立住宅にすべき。家賃も収入に応じて引き下げを。答弁 ①考えていない。②公営住宅法令等の一部改正を踏まえ検討。③高齢者世帯や障害者世帯等に重点化した減額を実施する。

高層住宅用階段避難車について

質問 ①防災訓練の際、階段避難車の操作を訓練すること。②高層マンションの自治会や「防災住民組織」に貸与すること。③高層マンションの自治会や管理組合などで配置する場合、区が補助すること。答弁 総合防災訓練等において有効性の検証を兼ねて、操作訓練の実施を検討する。また、配備について検討をしている。

区民主体のまちづくりについて

質問 区は今後193億円の補助金を大型再開発に支出する。①再開発事業への補助金を中止すべき。②絶対高さを設定すべき。③都計審の改善に向けて、区民委員枠の増員を。④学識経験者について。⑤虎ノ門・六本

木地区再開発事業について。答弁 ①事業内容などを適切に評価した上で執行する。②地域住民の発意と合意が重要。③考えていない。④各分野から幅広く任命するよう努める。⑤準備組合を強く指導する。

小さな子どもたちの「育ち」の環境の再構築を

質問 ①単に、待機児解消、補助金増額、一時保育や延長保育の充実など、対症療法や上乗せサービスを続けることだけで、私たち大人の役割を十分果たしているとはいえない。地域社会全体で子どもを育み、大人自身も子どもを通じて自らを見つめなおす。小さな子どもたちの「育ち」の環境をそんなふうにも再構築していくべき。

②子どもたちの「育ち」について、港区のような大都市にこそ足りないこと。自然から学ぶことの大切さ。「自然に勝る教師なし」幼少期、子どもが生き物としてこの世界で生きていくために体得しておかなければならないことを、子ども自身から獲得することが大切。答弁 ①「区長」子育てを地域全体で支援し子ども自身の力を伸ばすことが必要。「教育長」地域の宝を誇りである子どもたちに豊かな教育環境を整えることは私たちの責務。②「区長」自然体験の機会を多くつくるよう努める。「教育長」自然に触れる活動を取り入れ生命力溢れる教育の推進に努める。

①駐輪場の確保と撤去の徹底が放置自転車対策の鉄則。民間活力も活用し、わずかな場所にコイン駐輪場を設けるなど、対策を。②広尾駅の渋谷側は駐輪場があり、放置禁止区域。港区側も対応を。③撤去された自転車の返還率は18年度38%。残りの殆どは区負担で廃棄される。このもったいない自転車を減らす対策を。④もつと自転車利用者には配慮した街づくりを。

①歩道等を活用した駐輪場の設置や撤去活動等に民間活力の積極的な活用を検討する。②道路上での駐輪場整備を検討している。③撤去した自転車の有効活用をさらに検討する。④自転車レーンの設置等推進する。

広告物を規制し街の景観向上を

質問 広告物が街の景観に与える影響は大きい。街の治安の点からも色や大きさを規制すべき、不法看板にも厳しい対応を。答弁 広告物の制限について今後検討していく。

# 高陵中学校の改築工事 契約を承認しました

平成19年第4回定例会は、11月29日から12月7日まで開会されました。

はじめに、10人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。

質問は「都区のあり方に関する検討体制について」「国有地の活用について」「公金管理運用について」「税制改善と社会保障の切り捨てによる区民負担増の軽減を」「小さな子どもたちの「育ち」の環境の再構築を」「など区政全般にわたりました。

区長から提出された案件を審議した結果、条例など21件・補正予算1件を原案どおり可決しました。

みなさんから提出された請願は、5件を不採択とし、2件を継続審査としました。

議員提出による案件は、意見書2件を可決、関係機関へ送付したほか、条例制定及び改正の4件を継続審査としました。

また、追加提出された人事案件は、人権擁護委員候補者3名の推薦について、いずれも可決しました。

## 区民のみなさんから 提出された請願



### 不採択とした請願

▼保険業法の制度と運用を見直し、自主的な共済の保険業法の適用除外を求める請願

▼囲碁・将棋の義務教育に関する請願

▼少人数学級実施に関する請願

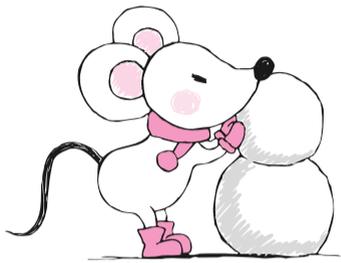
▼「後期高齢者医療制度」の中止

・撤回を求める請願

▼「後期高齢者医療制度」の中止

・撤回を求める請願

右の請願は、願意にそいがないとの理由で不採択となりました。



### 継続審査とした請願

▼「資源循環型社会をめざす清掃事業について」の請願

▼「教育水準を高める為の国の支援策」を求める請願

## 意見書

### を提出しました

全文

### 石油価格高騰に係る緊急対策を求める意見書

12月5日、石油情報センターが発表した灯油18リットルあたりの全国の平均小売価格は1・735円と前週に比べ107円上昇しました。また、レギュラーガソリンの1リットルあたりの同価格も154・9円と一週間で4・8円上昇し、灯油、ガソリンともに統計開始以来の最高値を記録するなど、国民の暮らしと営業を石油価格の高騰が襲っています。

このため、ハウス栽培農家、漁業者、トラック運送業者等、燃料油を使う事業者などから、「これでは経営がたちゆかない」と、悲鳴が上がるなど、国民生活にも重大な影響が出ています。また、これから厳しい冬を迎えるにあたり、暖房用の灯油が生活必需品となっている北海道・東北などの地域では、灯油代の値上がりはまさに死活問題となっています。

この価格高騰の影響はこれだけにとどまらず、原材料費や穀物価格の高騰ともあいまって、パン・即席麺・みそ・ビール・豆腐など、食料品から日常生活用品にいたるまで価格上昇を招き、この動きは、消費者物価全般へ波及しつつあります。この問題は、まさに国民の暮らしと地域経済を直撃し、日本経済全体の先行きにとって重大な問題となっています。

このように、消費者をはじめ中小企業などから悲鳴に近い声が上がっているなかで、政府が、迅速・有効な対策を講じていないことに国民の中に不安が広がっています。よって、港区議会は、政府に対して、

一方、治療環境については、医師を中心に結成された「リンパ浮腫治療研究会」による診療の手引きの作成など整備改善の動きも出てきましたが、こうした現状を打開するためには、早期のうちから適切な治療やケアを受ける機会を得ることができるよう、患者の金銭的負担を軽減するためリンパ浮腫治療を保険に適用できるように組み入れることにあります。

よって、港区議会は、政府に対して、リンパ浮腫患者に適切な治療を提供し、高額な治療費負担を減らすとともに治療環境の改善を図るため、平成20年度の診療報酬の改定に際し、リンパ浮腫治療の保険適用を組み入れることを強く求めるものです。

右、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出いたします。

厚生労働大臣 あて

## 継続審査とした案件

### 議員提出案件

▼港区心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例

▼港区痛みやわらげ手当の支給に関する条例

▼港区特別区税条例の一部を改正する条例

▼港区小中学校等入学準備金の支給に関する条例

### 議会運営委員会委員長の変更

11月2日の議会運営委員会において、委員長を左記のとおり選任いたしました。

委員長 菅野弘一(自民)

## 米軍ヘリポート基地の撤去を要請

港区には23区唯一の米軍基地(六本木七丁目23番・国立新美術館隣)があり、米軍ヘリコプターの離発着による騒音と事故発生の危険性が問題となっています。昨年12月18日区議会では、議長

・副議長及び各会派の代表並びに区長とともに防衛省地方協力局を訪ね防衛大臣に対し、要請書を出しました。区議会は区とともに返還要請の活動を続けます。



▲防衛省に対し要請書を提出する区議会及び区長

## みなさんの声を区政に

請願書の書き方

区議会では、区政に対する意見や要望を請願書として受け付けています。

特に定められた様式はありませんが、下記の書き方を参考に、次の必要事項を記入して下さい。

- ①日本語で請願の趣旨を簡潔に書いてください。
- ②請願者の住所、氏名(自署又は記名押印)を記入してください。なお、請願者が多数のときは、代表者を定め署名簿を添付してください。
- ③あて先は「港区議会議長」として下さい。
- ④請願には、1名以上の紹介議員が必要で、紹介の受け方等については、区議会事務局までお問い合わせ下さい。

◎問い合わせ  
区議会事務局議事係  
電話 3578-2111  
内線 2915-2917

(本文)	(表紙)
請願の趣旨 理由 年月日 請願者 住所 氏名 港区議会議長あて	〇〇〇〇〇に 関する請願 紹介議員

(氏名を自書した場合、押印は不要です)

議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

案 件 名	自民党 議員団	フォーラム 民主	共産党 議員団	公明党 議員団	みらい	議決結果
港区の一般職の任期付職員の採用に関する条例 ●専門的知識経験を有する者の任期を定めた採用に関し必要な事項を定める	○	○	×	○	○	原案可決
港区自転車等の放置防止及び自転車等駐車場の整備に関する条例の一部を改正する条例 ●「学校教育法」の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	原案可決
港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例 ●六本木・虎ノ門地区地区計画の都市計画決定の変更に伴う規定の整備	○	○	×	○	×	原案可決
港区特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 ●シティーハイツ神明の管理開始年度を19年度から20年度に変更	○	○	○	○	○	原案可決
港区住宅駐車場の管理に関する条例の一部を改正する条例 ●シティーハイツ神明駐車場を新たに設置	○	○	○	○	○	原案可決
港区立福祉会館条例の一部を改正する条例 ●青南福祉会館の改修工事終了に伴い、位置の変更(南青山四丁目10番1号)	○	○	○	○	○	原案可決
港区プールの衛生管理に関する条例の一部を改正する条例 ●「学校教育法」の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	原案可決
港区奨学資金に関する条例の一部を改正する条例 ●「学校教育法」の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	原案可決
港区立学校設置条例の一部を改正する条例 ●「学校教育法」の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	原案可決
港区立学校等に勤務する講師の報酬等に関する条例の一部を改正する条例 ●「学校教育法」の一部改正に伴う規定の整備	○	○	○	○	○	原案可決
平成19年度港区一般会計補正予算(第3号) ●シティーハイツ神明等建設費(1億3728万6千円)を増額補正	○	○	○	○	○	原案可決
工事請負契約の承認について(港区庁舎自動火災報知設備等改修工事) ●契約金額3億1948万2450円の承認	○	○	○	○	○	原案可決
工事請負契約の承認について(六本木六丁目道路整備工事) ●契約金額1億6170万円の承認	○	○	○	○	○	原案可決
工事請負契約の承認について(港区立高陵中学校改築工事) ●契約金額3億6876万円の承認	○	○	○	○	○	原案可決
工事請負契約の承認について(港区立高陵中学校改築に伴う電気設備工事) ●契約金額3億4207万6350円の承認	○	○	○	○	○	原案可決
工事請負契約の承認について(港区立高陵中学校改築に伴う空気調和設備工事) ●契約金額3億6015万円の承認	○	○	○	○	○	原案可決
工事請負契約の承認について(港区立高陵中学校改築に伴う給排水衛生ガス設備工事) ●契約金額2億8980万円の承認	○	○	○	○	○	原案可決
物品の購入について(学校図書館用什器) ●書架・図書机等の購入	○	○	○	○	○	原案可決
訴えの提起について ●建物の明け渡し及び滞納使用料等の支払いを求める訴えを提起	○	○	○	○	○	原案可決
特別区道路線の認定について(赤坂五丁目) ●赤坂五丁目地区の開発事業の施行に伴う、特別区道1158号線を認定	○	○	○	○	○	原案可決
指定管理者の指定について(港区立エコプラザ) ●指定管理者(毎日アースデイ株式会社)の指定	○	○	×	○	○	原案可決
指定管理者の指定について(港区立浜松町駅北口自転車等駐車場) ●指定管理者(社団法人港区シルバー人材センター)の指定	○	○	×	○	○	原案可決
保険業法の制度と運用を見直し、自主的な共済の保険業法の適用除外を求める請願	×	×	○	×	×	不採択
囲碁・将棋の義務教育に関する請願	×	×	×	×	×	不採択 2名退席
少人数学級実施に関する請願	×	×	○	×	×	不採択
「後期高齢者医療制度」の中止・撤回を求める請願	×	×	○	×	×	不採択 1名退席
「後期高齢者医療制度」の中止・撤回を求める請願	×	×	○	×	×	不採択 1名退席
リンパ浮腫治療の保険適用を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
石油価格高騰に係る緊急対策を求める意見書	○	○	○	○	○	原案可決
人権擁護委員候補者の推薦について(小林 卓子氏)	○	○	○	○	○	原案可決
人権擁護委員候補者の推薦について(原康 康雄氏)	○	○	○	○	○	原案可決
人権擁護委員候補者の推薦について(横内 浩子氏)	○	○	○	○	○	原案可決

議会HPへ  
アクセスしてみませんか

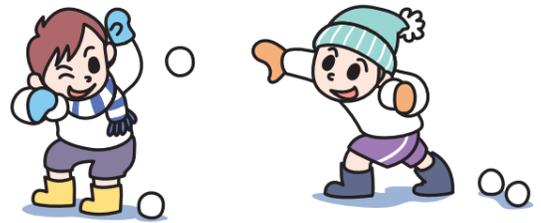
区議会の役割や、「請願・陳情」の書き方・提出方法、会議の傍聴手順などを掲載しています。また、区議会だよりのバックナンバーや、会議録(各定例会の本会議、予算・決算特別委員会、4常任委員会、4特別委員会)の閲覧・検索もできます。お子様向けには、ジュニア版も掲載していますので、みなさんそろってクリック!!



区議会のアドレスは

<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

**一時保育のおしらせ**  
区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さまをお預かりします。傍聴しようとする会議の開会3日前(土日、祝祭日を除きます)までに区議会事務局へ電話等でお申し込みください。なお、会議の開会予定については区議会ホームページ、ポスター等でご案内いたします。  
【申し込み・問い合わせ先】  
区議会事務局調査係  
内線3578-2921



港区議会文化展の様子

**港区議会文化展**  
昨年12月12日から21日まで、区役所1階ロビーで、区議会議員による文化展を初めて開催しました。区議会議員と区民のみなさまとの交流の一つとして、企画いたしました。

▼第1回定例会は2月下旬に開会する予定です。

あ と が き

編 集 委 員

副議長 風見利男

水野むねひろ

山本 閉留巳

熊田 ちづ子

古川 一郎

小 太 郎